

次号課題 「忠信」

今月の課題は論語の学而編の「主忠信 無友不如己者 過則勿憚改」から転借した「忠信」とする。

訓読は「忠信を主とし、己に如かざる者を友とするなかれ 過ちては則ち改を憚ることなかれ」で、意味は「忠実と信義を常に大事にし、自分に相応しくない人間を友としない。自分の過ちに気が付けばすぐにこれを改めるべきである。」といったところか。

参考作品



優秀作品

荒々しさの中に雅味がある。

池田 春水

自用印。回線に趣きがある。

藤居 岑 顕

金文が朱白のバランスよく配されている。

藤田 彩月

初心者であるが、力強い印である。

香 草野 楽

- 出品資格特に制限なし。
- 印（印影）の大きさは3センチ以内（形は自由。楕円・長方形等も可）。
- 印影を白の半紙1/4に押し、右側に条幅出品券を貼付。
- 課題文字以外の随意作品も出品可。消しゴム印も可。

次号課題

三代の栄耀一睡の中にして、大門の跡  
 は一里こなたに有。秀衡が跡は田野に  
 成て、金鶏山のみ形を残す。先高館にの  
 ぼれば、北上川南部より流る、大河也。

優秀作品

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

岡村 清 漣

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

藤井 潮 光

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

中塚 啓 子

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

西村 雪 光

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

松本 栖 麗

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

位ノ花 玲 香

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

澤田 桃 翠

卯月朔日、御山に詣拝す。往昔、此御山を、二荒山と書しを空海大師開基の時、日光と改給ふ。千歳未来をさとり給ふ。

松尾芭蕉「奥の細道」

- 出品資格：一般10級～師範。
- B5の用紙に縦書で四行に書くこと。（文字送りは自由）（行書、草書がまじってもよい。ただし漢字、ひらかなの変換は不可）
- 作品右下に条幅作品出品券を貼付。

※予告（七月号）は46ページに掲載

※用紙は検定試験の（口）の使用も可。

